

Museum Info 2016

ミュージアム・インフォメーション

平成28年度の山梨県立美術館・文学館・博物館・考古博物館の展覧会の予定をご案内します。

春

spring



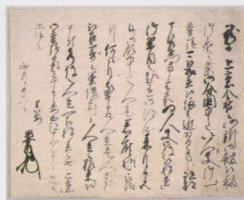
博物館

武田二十四将 — 信玄を支えた家臣たちの姿 —

平成28年3月19日(土)～5月23日(月)

中部地方に巨大な領国を築き上げた戦国大名武田氏。その発展は武田信玄個人の力だけではなく、多くの家臣の活躍によって実現しました。本展では、信玄を支えた家臣として後世までその名が知られる「武田二十四将」を中心に、彼らの古文書、武具や肖像、ゆかりの寺社などに伝えられる資料からその実像にせまります。また彼らの子孫が江戸時代以降にどのような活動をしていたのかもあわせて紹介します。

□観覧料／一般1,000円(840円)、大学生500円(420円) ()内は団体料金



真田昌幸書状(個人蔵)



武田二十四将図



美術館



ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ展

平成28年4月23日(土)～6月12日(日)

“神のごとき”芸術家と讃えられたミケランジェロ・ブオナローティは、石の塊から《ダヴィデ》などを彫り出した彫刻家であり、システーナ礼拝堂に《最後の審判》など、壮大な物語を描いた画家であり、《サン・ピエトロ大聖堂》の造営などを手がけた建築家でもありました。本展は、ミケランジェロの創造の軌跡を、素描や建築設計図面、書簡など貴重な資料によって辿ろうとする展覧会です。ルネサンス期の最高峰の芸術を紹介します。

□観覧料／一般1,000円(840円)、大学生500円(420円) ()内は団体料金

ミケランジェロ・ブオナローティ
(システーナ礼拝堂天井画《クマエの巫女》のための習作)
トリノ王立図書館蔵 ©Torino Biblioteca Reale



考古博物館

お肌のキレイな縄文土器 ～一の沢遺跡と酒呑場遺跡～

平成28年4月23日(土)～6月12日(日)

山梨県で発見された縄文土器の中でも、一の沢遺跡(笛吹市)と酒呑場遺跡(北杜市)から出土した土器は表面の土肌がひととき細やかで、縄文人たちがいかに精選された胎土を用い、丹念に磨き込んでいたかを物語っています。山梨の良質な土が生み出した美器の面(おもて)をじっくりと堪能してみませんか。

□観覧料／無料



左:顔面把手付土器・顔面部(重要文化財/一の沢遺跡出土/縄文時代中期)
右:深鉢形土器(重要文化財/酒呑場遺跡出土/縄文時代中期)



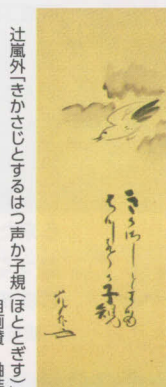
文学館

辻嵐外 甲州の近世俳人

平成28年4月29日(金・祝)～6月19日(日)

辻嵐外(つじらんがい 1770～1845)は、江戸時代後期、文化・文政期を中心に活躍した俳人です。生まれは越前の国敦賀(現在の福井県)で、青年時に甲州の俳人、五味可都里を頼って移り住み、以後、住まいを何力所か移しながら、歿年まで甲州で過ごしました。超俗洒脱な人柄で知られ、多くの門弟を育てて後の甲州俳壇に大きな影響を与えました。現代の目からみても親しみと共感を呼ぶ作品と書画の魅力を紹介します。

□常設展観覧料(一般:320円 / 大学生:210円)でご覧いただけます



辻嵐外「きかさじとするはつ声か子規(ほととぎす)」
自画賛 軸装



博物館

よみがえる、ふるさとの宝たち — 3.11被災資料の再生 —

平成28年6月4日(土)～7月4日(月)



2011年の東日本大震災によって大きな被害を受けた岩手県陸前高田市では、「文化財の残らない復興は本当の復興ではない」と市の文化財関連施設4館の資料約56万点のうち46万点の回収が行われ、ふるさとの宝を救うため全資料の応急処置・修復作業が進められています。多くを失った人々にとって、陸前高田の歴史・文化は心のよりどころとなることが期待されています。

本展では、陸前高田市で行われた文化財レスキュー事業をご紹介しますとともに、約100点のよみがえった資料を展示いたします。ふるさとの歴史・文化が心のよりどころとなる意味と一緒に考えていただきたいと思います。

□常設展観覧料(一般:510円 / 大学生:210円)でご覧いただけます
被災した昆虫標本(上)と修復された昆虫標本(下) (陸前高田市立博物館蔵)



美し、やまなし、パワー！ 山梨の女性アーティストたち

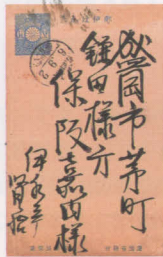


鈴木美江《春宵》1990年 紙本着色

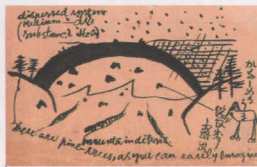
平成28年6月25日(土)～8月21日(日)

山梨県にゆかりのある女性作家の作品を展示します。明治時代の南画家・野口小蘋や、大正時代に女性初の二科会会友となった埴原久和代など、「女流」として男性作家と区別された時代に生きた女性作家の作品や歴史を紹介するほか、女性作家の立場に変化が起こり始めた戦後の作品、そしてインスタレーションなど新しい表現で現代に活躍する女性作家の作品など、個性的でパワーに満ちた約80点の作品を紹介します。

□観覧料／一般1,000円(840円)、大学生500円(420円) ()内は団体料金



宮沢賢治 保阪嘉内宛葉書
1917(大正6)年9月2日消印



宮沢賢治 保阪嘉内への手紙

平成28年7月9日(土)～8月28日(日)

詩、童話に独自の世界を切り開いた宮沢賢治(1896～1933 岩手県生まれ)。無二の親友であった山梨県韮崎市出身の保阪嘉内(ほさか かない 1896～1937)との交友を表す73点の手紙が、平成27年当館に寄託されました。寄託後、初の展覧会として全73通を公開し、賢治と嘉内の友情に迫ります。

□常設展観覧料(一般:320円 / 大学生:210円)でご覧いただけます



山梨のはにわ

平成28年7月16日(土)～8月28日(日)

山梨県内の古墳から出土した埴輪にスポットを当て、古代の魅力を紹介します。埴輪といえば、人や動物などをかたどったものがイメージされ、考古学の出土品の中では人気がありますが、時期や地域によって種類や作り方などに違いがあり、古墳の年代はもちろん、当時の生活の様子、さらには社会の様相まで知ることができます。夏休み期間中の開催に合わせて、子どもたちの素朴な「なぜ？」にも答えながら、埴輪からみた山梨の古墳時代について考えます。

□観覧料／無料

壺形埴輪(山梨県指定文化財/甲斐鉾子塚古墳出土/古墳時代)



医は仁術

平成28年7月16日(土)～9月5日(月)

現在世界最先端と言われている日本の医学の始まりは江戸時代にありました。日本初の人体解剖を行った山脇東洋、「解体新書」を翻訳した杉田玄白ら蘭方医を始め、伝統的な医術を担った漢方医にあっても、人々を救うために、人体がどのような構造であるかについて正しく理解する必要が広く認識され、18世紀後半にはその解明が始まったのです。

本展では、当時の希少な解剖図や医療器具等も展示し、中国から来た漢方と西洋から来た蘭学が、「医は仁術」が実践されたわが国においてかに独自に発展し、人々を救ってきたかを探ります。また、山梨における医学・医術をめぐる様々な資料も展示します。

□観覧料／一般1,000円(840円)、大学生500円(420円) ()内は団体料金

山脇東洋解剖図(国立科学博物館蔵)



エレキテル
(国立科学博物館蔵)



国立美術館巡回展

平成28年9月3日(土)～10月10日(日・祝)

国立美術館の所蔵作品を活用し、広く国民の鑑賞機会の充実を図るとともに、美術の普及をもって地域文化の振興に資するために実施される「国立美術館巡回展」。今回は、京都国立近代美術館を中心とした国立美術館の所蔵する選りすぐりの作品を紹介します。竹内栖鳳や上村松園などの日本画、安井曾太郎らの洋画、さらには漆工芸、竹工、金工などの工芸。京都を中心に活躍し、近代を代表する美術家たちの作品を一堂に会する好機です。

□観覧料／一般1,000円(840円)、大学生500円(420円) ()内は団体料金

竹内栖鳳
《秋興》昭和二(一九二七)年
京都国立近代美術館蔵



秋

autumn

Museum Info 2016

ミュージアム・インフォメーション



北杜夫展

平成28年9月17日(土)～11月23日(水・祝)

小説家北杜夫(きた もりお)は、代表作「楡家のんびと」などの純文学作品において高い評価を得る一方で、ユーモアあふれる独特の語り口が人気を博した「どくとるマンボウ」シリーズを発表しました。『どくとるマンボウ医局記』には、1955(昭和30)年に医師として山梨県立玉諸病院(現・北病院)に勤務した経験が記されています。本展では代表作だけでなく、20代から30代にかけて同人誌に発表された作品もとりあげるほか、父である歌人斎藤茂吉や友人の小説家辻邦生や埴谷雄高ら多くの文学者や文化人と交わした書簡を展示。近代文学史に大きな足跡を残した北杜夫の生涯と文学を紹介します。

□観覧料/一般600円(480円)、大学生400円(320円) ()内は団体料金



軽井沢の別荘にて



よみがえる武士の魂 — 鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化 —

平成28年9月28日(水)～11月23日(水・祝)

天皇との血脈を背景に大陸文化の香り高い京との交流を保ち、在地での地縁の関係を維持し、弓馬、金採掘、治水など高度な技術を手にして各地へ進出した甲斐源氏とその末裔の活動をたどりながら、甲斐の地で育まれた武士の魂に迫ります。 □観覧料/一般・大学生600円(480円) ()内は団体料金



武田八幡宮(韮崎市神山町)



重要文化財 銅製経筒
柏尾山経塚(甲州市)平安時代
東京国立博物館蔵



ワイン 葡萄と葡萄酒 平成28年10月8日(土)～11月28日(月)



大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図 明治時代

葡萄と葡萄酒(ワイン)は、山梨県が誇る代表的特産物です。葡萄栽培の発祥は古代にまで遡るとの伝承もあり、江戸時代には甲斐国の特産物として知られていました。また、醸造や栽培技術は、明治時代以降海外にも学び、他県に先駆けて近代化が進められました。本展では、歴史・民俗・美術の各視点から、山梨における葡萄と葡萄酒にまつわる歴史と文化を振り返ります。山梨の文化資産としての「葡萄と葡萄酒文化」を知り、より一層美味しい秋をお過ごしください。

□観覧料/一般500円(400円)、大学生250円(200円) ()内は団体料金



葡萄図 天龍道人 江戸時代



フランスの風景 樹をめぐる物語 — コローからモネ、ピサロ、マティスまで —

平成28年10月22日(土)～12月11日(日)

時代の移り変わりと共に、絶えず変化する風景。いつの時代にあっても、樹木は静かに佇み、四季の移ろいを伝え、時の流れを見守る存在でした。本展覧会では、「樹木」というモチーフに着目しながら、19世紀中頃から20世紀にフランスで制作された風景画の変遷を辿ります。ポントワーズのピサロ美術館長、クリストフ・デュヴィヴィエ氏の監修のもと、バルビゾン派、印象派、そして20世紀に活躍した画家たちの作品まで、油彩画を中心とした約105点を展覧します。 □観覧料/一般1,000円(840円)、大学生500円(420円) ()内は団体料金



クロード・モネ
《ヴェトウイユの河岸からの眺め、ラヴァクール(夕暮れの効果)》
1880年頃 油彩、キャンバス 120×155cm 個人蔵
Photographie : Musée Camille Pissarro, Pontoise

山梨近代人物館 第3回展示「近代山梨を築いた人々」

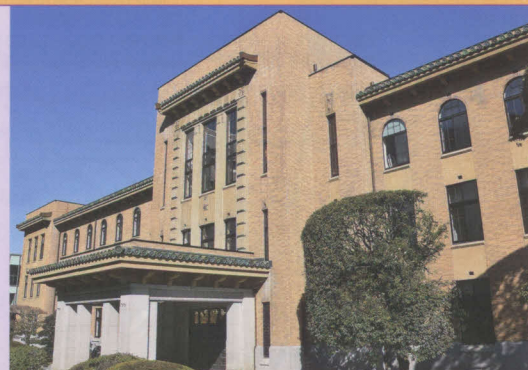
The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

第4回展示「日本の文化を興した山梨の人々」

平成27年4月、山梨県庁舎別館にオープンした「山梨近代人物館」では、平成28年4月から同年9月末まで、第3回展示「近代山梨を築いた人々」を、平成28年10月から平成29年3月末まで、第4回展示「日本の文化を興した山梨の人々」を開催します。

貴重な文化財であり、また、時代を超える記憶が刻まれた県庁舎別館で、山梨県の発展を支えてきた幾多の先人たちからのメッセージを今、改めて紹介します。

山梨近代人物館 | 〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6番1号 県庁舎別館2階 TEL 055-231-0988
開館時間 / 午前9時～午後5時 休館日 / 毎月第2・第4火曜日、12月29日～1月3日





浄土憧憬

平成29年1月28日(土)～2月27日(月)

北杜市所蔵の当麻曼荼羅図は、阿弥陀如来の浄土を表した図です。鎌倉時代以降浄土信仰の高まりとともに盛んに制作され残された作品も多いですが、本作は精緻な描写と賦彩が特徴です。本展では、本作とともに、笛吹市安楽寺に伝わる観音菩薩像などを併せて紹介し、浄土信仰、阿弥陀信仰の有り様の一端について紹介します。

□常設展観覧料(一般:510円 / 大学生:210円)でご覧いただけます



当麻曼荼羅図(北杜市蔵)



観音菩薩像
(安楽寺蔵)



風土記の丘望見展

平成29年3月1日(水)～4月9日(日)



春休みに合わせて考古博物館風土記の丘研修センターで開催する展示会です。「風土記の丘」と呼ばれている曾根丘陵公園周辺にある遺跡にスポットを当て、さまざまなテーマでパネル等を利用し、誰にでも分かりやすく解説した展示を行います。

□観覧料/無料



ブータン王国展 ～しあわせに生きるためのヒント～

平成29年3月18日(土)～5月15日(月)

「GNH国民総幸福量」を国政の柱とし、世界一幸せな国として知られるようになったブータン。豊かな自然に恵まれ、密教の流れを汲んだ仏教国として「神々の宿る国」とも呼ばれています。本展では知られざるブータンの歴史と文化を、日本初公開の貴重な資料により紹介します。

□観覧料/一般1,000円(840円)、大学生500円(420円) ()内は団体料金



ツェチュの仮面



Vajradhara像

※():団体(20名以上)料金

観覧料のご案内	観覧料		常設展	特別展・企画展	定期観覧券(年間パスポート) 購入した日から1年間、常設展・企画展(特別展)を何回でも観覧できます。
	一般	大学生			
美術館	一般	510(420)円	510(420)円	当パンフレットに記載されている各展覧会情報をご覧ください。	3,080円
	大学生	210(170)円			1,540円
文学館	一般	320(250)円	210(170)円		1,540円
	大学生	210(170)円			770円
博物館	一般	510(420)円	210(170)円		2,060円
	大学生	210(170)円			1,030円
考古博物館	一般・大学生	210(170)円	210(170)円	1,330円	

ミュージアム甲斐in券 (4館共通定期観覧券)	
購入した日から1年間、美術館、文学館、博物館、考古博物館の全ての常設展・企画展(特別展)を何回でも観覧できます。	
一般	5,150円
大学生	2,580円

県内の65歳以上の方(県外65歳以上の方は常設展料金のみ)、障がい者および介護者ならびに、小・中・高校生等は、**無料**です。また、県民の日(11月20日)は、どなたでも**無料**です。

山梨県立美術館

〒400-0065 甲府市真川1-4-27
TEL 055-228-3322
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)

山梨県立文学館

〒400-0065 甲府市真川1-5-35
TEL 055-235-8080
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)

山梨県立博物館

〒406-0801 笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)

山梨県立考古博物館

〒400-1508 甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)



山梨県立 富士山 世界遺産 センター

Fujisan
World
Heritage
Center,
Yamanashi
OPEN



Fujisan Mountain Area
Fujisan Hongu Sengen Taisha Shrine
Yamanashi Sengen-jinja Shrine
Murayama Sengen-jinja Shrine
Suzama Sengen-jinja Shrine
Fujii Sengen-jinja Shrine
Kawaguchi Asama-jinja Shrine
Fujii Omuro Sengen-jinja Shrine
"Oshi" Lodging House
"Oshi" Lodging House (Former House of the Toppan Family)
Lake Yamanakako
Lake Kawaguchiko
Oshino Hakkai springs
Oshino Hakkai springs (Dejizake Pond)
Oshino Hakkai springs (Okazake Pond)
Oshino Hakkai springs (Sakurawake Pond)
Oshino Hakkai springs (Oozake Pond)
Oshino Hakkai springs (Wakake Pond)
Oshino Hakkai springs (Nagome Pond)
Furuta Iwa tree mounds
Yoshida Iwa tree mounds
Hicama Tai-ko Isaki
Shirako no Taiki waterfalls
Mihoromatsubara pine tree grove

2016年6月22日(水) 開館[※]

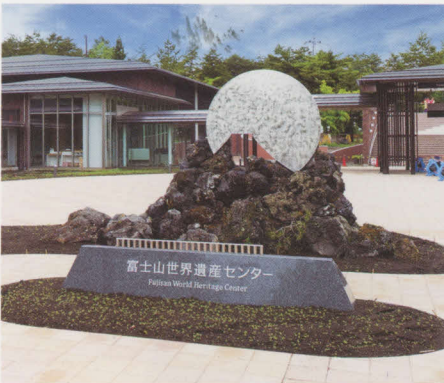


富士山世界遺産センター
Fujisan World Heritage Center

※上記開館日の一般入館は15時～ **アクセス** 富士急行線河口湖駅より徒歩20分(バス5分)、中央自動車道河口湖I.Cより300m、東富士五湖道路富士吉田I.Cより600m **住所・連絡先** 〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1 TEL 0555-72-0259 WEB <http://www.fujisan-whc.jp> **休館日** 北館=年中無休 南館=第4火曜日 **観覧料** 北館=無料 南館=一般:420(330)円 大学生:210(170)円 高校生以下は無料【()内は団体料金】



富士三六〇



シンボルマークオブジェ



富士山の保護・保全



胎内ビジョン・広がる富士山の世界

催事情報 (詳細はホームページにてご確認ください)

開館企画展 **世界遺産富士山**
— 祈りの世界の山開き —
2016年6月22日～8月22日

富士山レンジャー写真展
2016年9月28日～10月24日

企画展 探訪 富士山巡礼路
2017年1月1日～2月27日

- 富士山ライブラリー図書展示 (約2ヶ月ごとに更新)
- 世界遺産「富士山」講座 (2,12月を除く毎月第3土曜日)

観覧料

南館入館料	一般	大学生	高校生以下
当日券	420円	210円	無料
団体 (10名以上)	330円	170円	

※北館は入場無料

休館日 北館：年中無休 南館：第4火曜日

開館時間
 4月1日～6月30日 8時30分～17時00分
 7月1日～7月15日 8時30分～18時00分
 7月16日～8月26日 8時30分～19時00分
 8月27日～9月30日 8時30分～18時00分
 10月1日～3月31日 8時30分～17時00分

アクセス 富士急行線河口湖駅より徒歩20分(バス5分)
 中央自動車道河口湖 I.Cより300m
 東富士五湖道路富士吉田 I.Cより600m

住所 〒401-0301
 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 6663-1

連絡先 TEL 0555-72-0259 FAX 0555-72-0211
 WEB <http://www.fujisan-whc.jp>



富士山世界遺産センター
 Fujisan World Heritage Center



美し、
やまなし
パワー!

UTSUKUSHI
YAMANASHI
POWER!

開館時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

主催 山梨県立美術館

後援 山梨日日新聞社・山梨放送／テレビ山梨／テレビ朝日甲府支局

朝日新聞甲府総局／毎日新聞甲府支局／読売新聞甲府支局

日本経済新聞社甲府支局／産経新聞社甲府支局／共同通信社甲府支局

時事通信社甲府支局／山梨新報社／日本ネットワークサービス

エフエム富士／エフエム甲府／女流画家協会

協力 山梨交通株式会社

休館日 6月27日(月)、

7月4日(月)、11日(月)、25日(月)、

8月1日(月)

観覧料 一般：1000円(840円) 大学生：500円(420円)

高校生以下の児童・生徒は無料

※()内は、20名以上の団体料金、前売料金、県内宿泊者割引料金

※県内在住の65歳以上の方は無料(健康保険証等持参)

※障害者手帳をご持参の方と介護の方1名は無料

※前売券は山梨県立美術館にて5月25日(水)-6月24日(金)まで販売

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

2016 6.25(土)-8.21(日)

山梨の女性アーティストたち

美し、 やまなし、 パワー!

2016 6.25(土)-8.21(日)
山梨の女性アーティストたち

明治時代の南画家・野口小蘋^{しょうひん}や、大正時代に女性初の二科会会友となった^{はにはら}埴原久和代、戦後に県内の女性画家たちを牽引した佐野智子、新しいジャンルでは『エースをねらえ!』のマンガ家・山本鈴美香など、山梨県にゆかりのある様々な女性アーティストたちが県内外で活動をしてきました。

制作活動で身を立てることが極めて難しかった戦前の女性たち、男女平等が謳われ、家庭の切り盛りをしながら社会進出に挑戦し制作を続けた戦後の女性たち、生き方が多様化するなか時代に適した表現を模索する現代の女性たちなど、女性アーティストの歴史は時代背景や社会通念とも深い関係があります。

本展では、山梨県にゆかりのある明治から現代に至るまでの約30名の女性アーティストたちに焦点を当てます。油彩や日本画など既に確立したジャンルの他にも、インスタレーション、マンガ、デザインといった近年重要視されるようになった表現による作品も展示します。山梨県立美術館では、30数年にわたる歩みのなかで、郷土の芸術家たちを多数紹介してきましたが、女性アーティストたちの歴史と作品をテーマにした展覧会は初の開催となります。パワーと個性に満ちた約80点の作品をお楽しみください。

関連イベント

記念講演会

「日本近現代の女性アーティストたち、その評価の歴史と活動について」

女性アーティストたちの歴史と作品について、これまで数々の展覧会を手がけてきた小勝禮子氏による講演会を行います。

講師：小勝禮子氏（近現代美術研究、ジェンダー論。前栃木県立美術館学芸課長）

6月25日(土) 14:00-15:30

場所：県立美術館講堂

※申し込み不要、聴講無料

銅版画の刷り実演と ギャラリー・トーク

本展出品作家である銅版画家のナカノ163氏による、銅版画の一版多色刷りの実演とギャラリー・トークを行います。

講師：ナカノ163氏（本展出品作家）

7月3日(日) 13:30-15:00

場所：県立美術館工房、特別展示室

※申し込み不要、参加無料

みんなでつくる 美術館

ワークショップ

「音の色、音の形
～図工オーケストラ～」

音を探して、その音の色や形をいろんな素材で作って展示します。

講師：丸山純子氏（本展出品作家）

7月29日(金)

13:30-15:30

場所：県立美術館

ワークショップ室

※申し込み不要、参加無料

ミュージアム・シアター

「劇場版 エースをねらえ!」

(アニメーション・1979年)

7月16日(土) 13:30-

(約88分)

場所：県立美術館講堂

※申し込み不要、入場無料

大人のための美術講座

「美術史と女性」

ギャラリー・トークの前の気軽なレクチャーです。

8月14日(日) 13:30-14:00

場所：県立美術館講堂

※申し込み不要、聴講無料

担当学芸員の

ギャラリー・トーク

8月14日(日)

14:30-

場所：特別展示室

※特別展チケットが必要です。

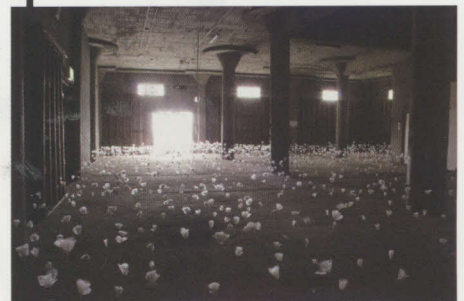


UTSUKUSHI
YAMANASHI
POWER!

①



②



③



④

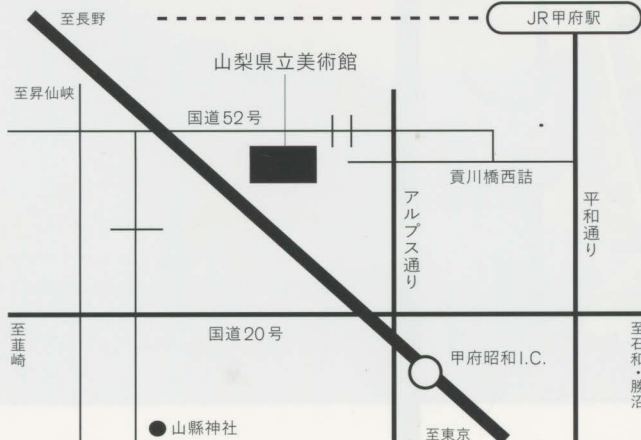


⑤

中央自動車道甲府昭和インターより
■料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、徳行立体南交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貢川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。

JR中央本線甲府駅より
■甲府駅バスターミナル(南口)より御勅使・竜王駅経由敷島営業所・大草経由韮崎駅・貢川団地各行きで約15分「県立美術館」下車。(料金：片道280円)
※甲府駅からのバスの時刻表は「山梨交通HP」よりお調べいただけます。
■タクシーで約15分。(料金1,700円程度)

昇仙峡より
■敷島営業所行バスで「県立美術館」下車。



山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art

山梨県甲府市貢川1-4-27 TEL 055-228-3322
<http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>
<https://www.facebook.com/yamanashi.artmuseum> (Facebook)

①野口小蘋《西王母図》1890年 絹本着色 株式会社十一屋蔵
②佐野智子《自画像》1980年代 油彩・麻布 韮崎大村美術館蔵
③丸山純子《無音花畑・NYK》2007年 インスタレーション
④松田百合子《L'aveu》1988年 陶 個人蔵
⑤柴田文江 ソファのデザイン 2003年

近代山梨を築いた人々

山梨近代人物館第三回展示



ポール・ラッシュ
【(公財)キープ協会/ポール・ラッシュ記念館】



内藤満寿
【個人蔵】



功刀亀内
【山梨県立博物館蔵】



内藤伝右衛門
【山梨県立博物館蔵】



藤村紫朗
【山梨中銀金融資料館蔵】



土屋龍憲
【甲州市提供】



富岡敬明
【北杜市教育委員会提供】



杉浦健造
【昭和町風土伝承館・杉浦醫院蔵】



塚本定右衛門
【株式会社ツタモトコーポレーション資料館「坂内町」提供】

山梨県庁舎別館
(山梨県指定文化財)

■ 展示期間 / 平成28年4月1日(金)～9月末日まで

- 開館時間 / 午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 / 毎月第2・第4火曜日 その他展示替え等により臨時に休館する場合があります
- 入館料 / 無料
- 住所 / 甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
- お問い合わせ / TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991
<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

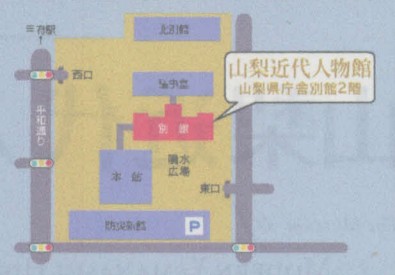


若尾逸平

山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

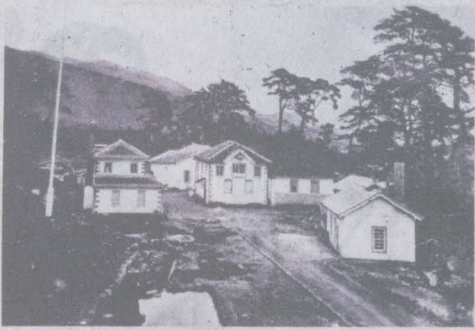
山梨県庁舎別館内図 愛称: オープンガーデンやまなし



近代山梨を築いた人々

「近代化」の先駆者たち

江戸から明治にかけて、日本の社会は大きく変化を遂げようとしていました。激動の時代のなかで、山梨に新しい技術や産業を取り入れていこうとした、「近代化」の先駆者たちをご紹介します。



藤村紫朗県令らによって1876(明治9)年に旧甲府城内へ建設された県勸業試験場



藤村紫朗

富岡敬明

土屋龍憲



杉浦健造

ポール・ラッシュ



塚本定右衛門

山梨の風土や地域社会を守る・興す

「近代」と呼ばれる時代は、地域にさまざまな矛盾や課題をもたらしました。地域が抱えた課題に取り組み、現在の豊かな郷土を形作る礎となった人々をご紹介します。



明治40年の大水害によって荒廃した山梨県の山林のため、植林費用を寄贈した塚本定右衛門を称える「塚本山碑」

郷土の文化の発展に寄与した人々

「近代」とともに訪れた「情報革命」は、新聞・出版業を通じて山梨の人々に、新しい思想や様々な知識も伝えていきましたが、歴史資料などの文化的遺産の散逸も進んでいきました。「近代」という潮流のなか、山梨の文化の振興や保護に尽力した人々をご紹介します。



山梨県最初の新聞「峡中新聞」第1号
1872(明治5)年 山梨県立博物館蔵



功刀亀内

内藤伝右衛門

内藤満寿

■山梨近代人物館の概要

山梨近代人物館は、50人の山梨ゆかりの人物を紹介しています。テーマに沿って9人の人物を詳しく紹介する人物紹介室のほか、導入展示室・子ども向け展示・情報展示室・旧知事室・県政歴史展示室(旧知事応接室)などからなっています。



■教育普及事業

山梨近代人物館では、ほぼ毎月、教育普及事業として、講座などのイベントを開催しております。Facebookやホームページなどに随時情報を掲載していますので、荘厳な正庁で催されるイベントに、ぜひご参加ください。



山梨近代人物館

The Museum of

MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991
<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

JR中央線・身延線甲府駅南口徒歩5分
乗用車の場合、防災新館地下駐車場をご利用ください(駐車無料)

